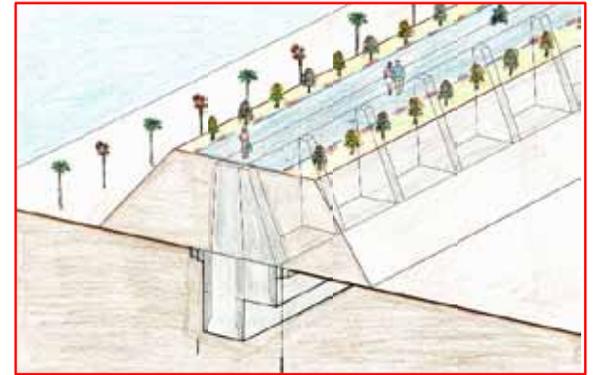
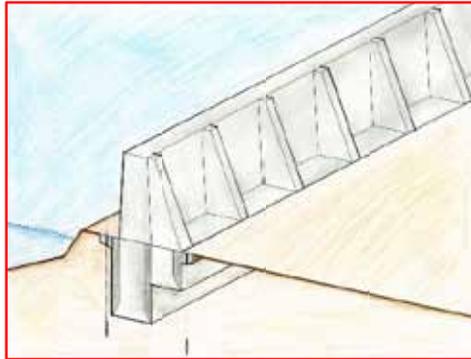


# ハイアック工法による防波堤築造工法

1. 防波堤厚さを小規模にし、擁壁補強構造とする。
2. ケーソン函体内へ瓦礫及び土砂等を充填し処理できる。
3. ケーソン連続函体基礎は、地山（支持層）に構造物の根入れができ、洗掘に強く圧入用アンカーを利用し、転倒防止構造となっています。
4. 上部工の防波堤・擁壁部を盛土として、埋体補強も可能である。

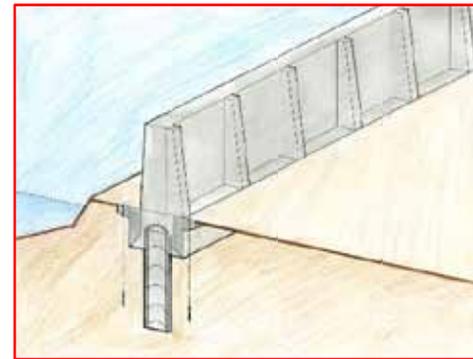


●完成イメージ

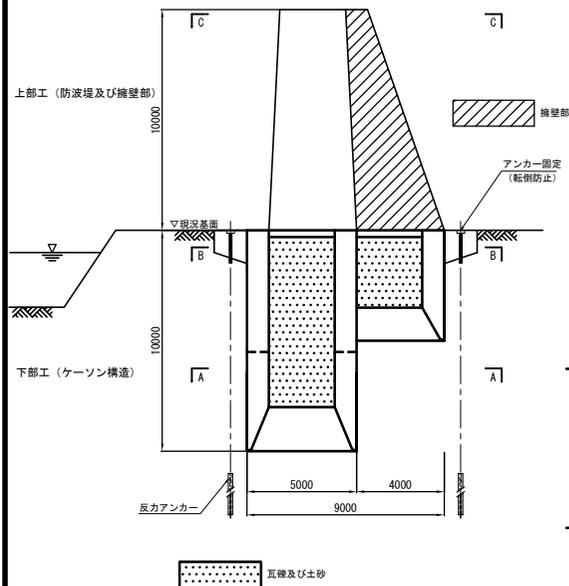


【支持層が深い場合】

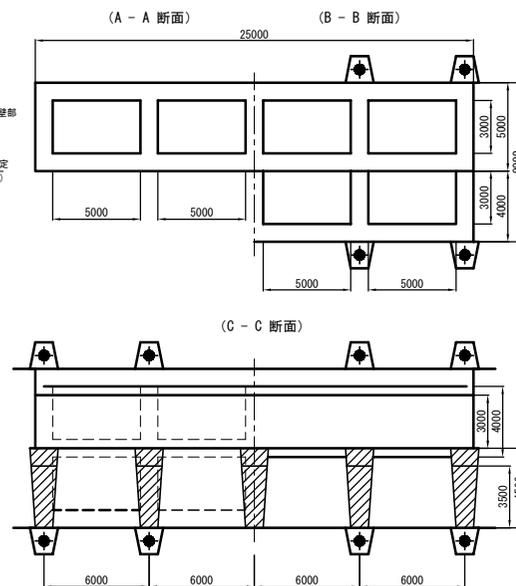
●完成イメージ



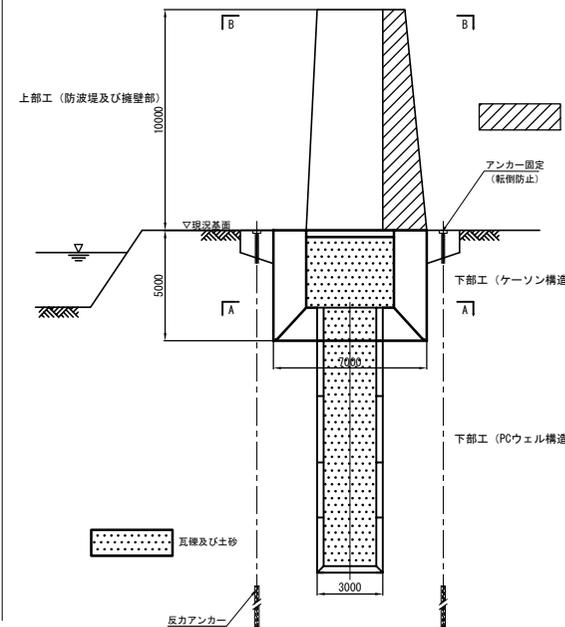
【断面図】 S=1/200



【平面図】 S=1/250



【断面図】 S=1/200



【平面図】 S=1/250

